

ぼくらは「本気」のカッコよさを
— 演劇に挑んだ野球部員の物語 —
知ってしまった!

野球部員、 舞台に立つ!

竹島由美子 = 原作

「野球部員、演劇の舞台に立つ!」(高文研刊)

福山啓子 = 脚本・演出

大屋寿朗 = 製作

【出 演】 中川為久朗
船津基
武智香織
鈴木匡史
岡本有紀
中津原知恵
山田秀人
川端悠吾
藤代梓

【美 術】 石井強司
【照 明】 松浦みどり
【音 楽】 石川ホベルト
【音 響 効 果】 石井隆
【衣 装】 宮岡増枝
【舞 台 監 督】 新庄広樹
【福岡ことば指導】 藤木久美子
【宣 伝 美 術】 増田絵里
+Design Port

野球部員、 舞台に立つ!

竹島由美子＝原作
福山啓子＝脚本・演出 大屋寿朗＝製作

あのかけがえのない日々がよみがえる!

西日本短期大学附属高校 竹島由美子

初めて野球部員たちが演劇部の練習場に来て来たとき、先輩たちは大興奮でした。練習後の汚れたままのユニフォームで駆け上がってくる野球部員たちは、不思議なほど温かくて大きなエネルギーを演劇部に運んでくれたのです。

今まで交流することなど考えられなかった野球部員と演劇部員が、台本を手に真剣に議論したり、楽しそうにふざけていたり…。甲子園を目指す野球部員が演劇部員とともに舞台を創るようになって今年で10年目、指導を担当してきたどの代の先輩たちも、そんな光景を本当に幸せそうに見ていました。それぞれの年にそれぞれのドラマがあり、それら全てが私たちにかけがえのない思い出です。

そのかけがえのない日々が、紀伊國屋ホールの舞台でいきいきと再現されたのです。私達は心をふるわせました。このすてきな物語が厳しい時代を生きる日本中の若者達に届けられ、希望と勇気が伝わっていくことを願っています。

【ものがたり】

福岡県南部にある私立翔雲学園高校。過去に甲子園優勝の経験も持つ野球部は、今年は秋季大会の敗退で春の甲子園出場は絶望的になった。「甲子園しか見ていないようでは、甲子園には行けませんよ。」という野球部監督のつぶやきに、隣席の演劇部顧問が思いついたように応えた。「野球部、演劇してみない?!」。

野球部と演劇部、全く異質に見える両者が本気でぶつかり始めたときに、彼らの中に生まれていく、激しい葛藤と、青春の輝き。どんな舞台ができあがるのか。そして、甲子園は…。



竹島由美子(たけしまゆみこ)
香川県生まれ。國學院大学文学部卒。小・中学校の講師を経て、西日本短期大学附属高等学校に勤務。国語科。



福山啓子(ふくやまけいこ)
東京都生まれ。1980年入団。文芸演出部所属。付属養成所や研究生の勉強会の上演指導・演出などのほか、アマチュアのミュージカル集団などで作・演出。2006年初演「博士の愛した数式」の脚本・演出を担当し、児童福祉文化賞(厚生労働大臣賞)を受賞。



写真: 香月可織 (VWAVE)

〈出演〉



中川為久朗



船津基



武智香織



鈴木匡史



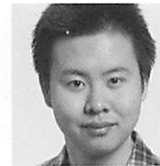
岡本有紀



中津原知恵



山田秀人



川端悠吾



藤代梓

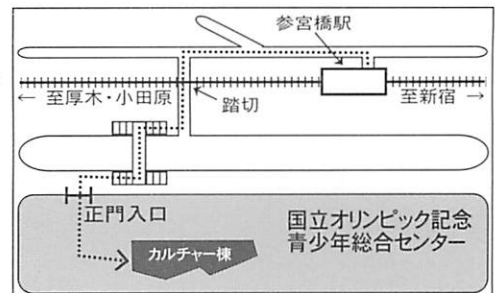
〒160-0022 東京都新宿区新宿2-9-20 関川ビル4F
TEL.03(3352)6990 FAX.03(3352)9418

2013年 《子どもと舞台芸術-出会いのフォーラム 2013-参加公演》

7月27日(土) 開演18:30 ※開場は開演の30分前です。

国立オリンピック記念
青少年総合センター

カルチャー棟
小ホール



小田急線・参宮橋駅下車徒歩7分(各駅停車をご利用ください。)

一般 4000円 (消費税含む)
U30 (30歳以下) 2500円 (〃)
中高生 2000円 (〃)
※2013青年劇場友の会会員 3500円 (〃)

◎お申し込みは6月3日より承ります。
◎全席指定席です。
◎車椅子でご来場の方は準備の都合上、必ず劇団までご連絡ください。

青年劇場チケット 03(3352)7200
ticket@seinengekijo.co.jp http://www.seinengekijo.co.jp/